

■ 平成 18 年までの三位一体改革によるミクロ（地方団体毎の）効果

	都道府県			市町村		
	改革後の1人あたり 歳入格差	変動係数の変化量	歳入変化率年平均 (平均値)(%)	改革後の1人あたり 歳入格差	変動係数の変化量	歳入変化率年平均 (平均値)(%)
奨励中心型	縮小	-0.019	-3.4	縮小	-0.023	-2.5
義務教育中心型	縮小	-0.014	-2.2	縮小	-0.007	-2.2
義務教育中心型 75%財源保障	縮小	-0.011	-2.8	縮小	-0.007	-2.3

■ 平成 21 年までの三位一体改革によるミクロ（地方団体毎の）効果

	都道府県			市町村		
	改革後の1人あたり 歳入格差	変動係数の変化量	歳入変化率年平均 (平均値)(%)	改革後の1人あたり 歳入格差	変動係数の変化量	歳入変化率年平均 (平均値)(%)
奨励-義務教育 義務教育-奨励	縮小	-0.025	-1.4	縮小	-0.037	-0.9
奨励-義務教育 義務教育-奨励 75%財源保障	縮小	-0.022	-1.8	縮小	-0.035	-1.1
義務教育-奨励 75%財源保障 公共事業削減税源移譲なし	縮小	-0.022	-1.9	縮小	-0.034	-1.1
奨励-義務教育 75%財源保障 新規単独事業削減	縮小	-0.032	-2.5	縮小	-0.048	-2.6

歳入 = 地方税収 + 地方譲与税収 + 地方特例交付金 + 地方交付税 + 国庫支出金。

「変動係数の変化量」の絶対値が大きいほど、格差縮小。